

明治大学未来サポーター給費奨学生

明治大学では、明治大学未来サポーター基金（奨学サポート基金）へ寄せられた寄付金を原資とした未来サポーター給費奨学生制度（授業料の2分の1相当額を支援）を2013年度から実施しています。

感謝のことば

「感謝のことば」は、この奨学金を受給した学生から、寄付者の方へ感謝の気持ちを伝えるために毎年作成し、寄付者の方にお送りしています。

（抜粋版）

この抜粋版は、2016年度受給学生140人の中から7人のコメントを掲載しています。

M

SUPPORTER



明治大学では、明治大学未来サポーター募金（奨学サポート資金）へ寄せられた寄付金を原資とした未来サポーター給費奨学生制度（授業料の2分の1相当額を支給）を2013年度から実施しています。

「感謝のことば」は、この奨学金を受給した学生から、寄付者の方々へ感謝の気持ちを伝えるために毎年作成し、寄付者の方にお送りしています。

この抜粋版は、2016年度受給学生140人の中から7人のコメントを掲載しています。

（この抜粋版は、2016年度受給学生140人の中から7人のコメントを掲載しています。）

（この抜粋版は、2016年度受給学生140人の中から7人のコメントを掲載しています。）

■ 2017年度未来サポーター給費奨学生採用結果

学部	応募者数	採用者数	学部	応募者数	採用者数
法学部	96	13	農学部	52	9
商学部	64	11	経営学部	94	13
政治経済学部	98	20	情報コミュニケーション学部	168	15
文学部	74	12	国際日本学部	136	22
理工学部	136	13	総合数理学部	157	22
			全学部計	1,075	150

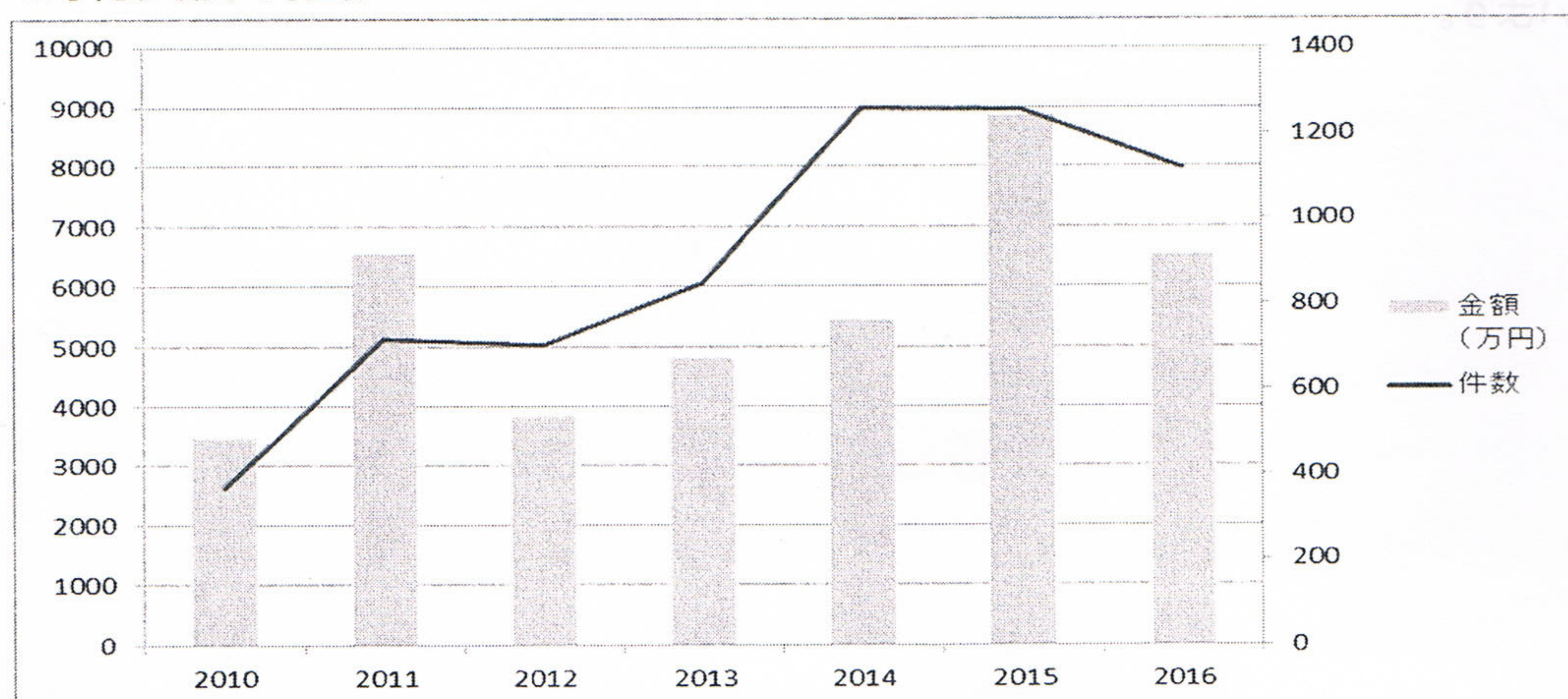
■ 奨学サポート資金 寄付実績

(金額は万円)

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	計
件数	369	719	702	849	1,260	1,255	1,116	6,270
金額	3474	6,547※	3,853	4,827	5,432	8,874	6,533	39,540

※ 2011年度は連合父母会から2750万円の寄付を頂戴しました。

<寄付実績の推移>



■ 寄付者の方々の声 (寄付の際に頂戴したコメントを掲載します)

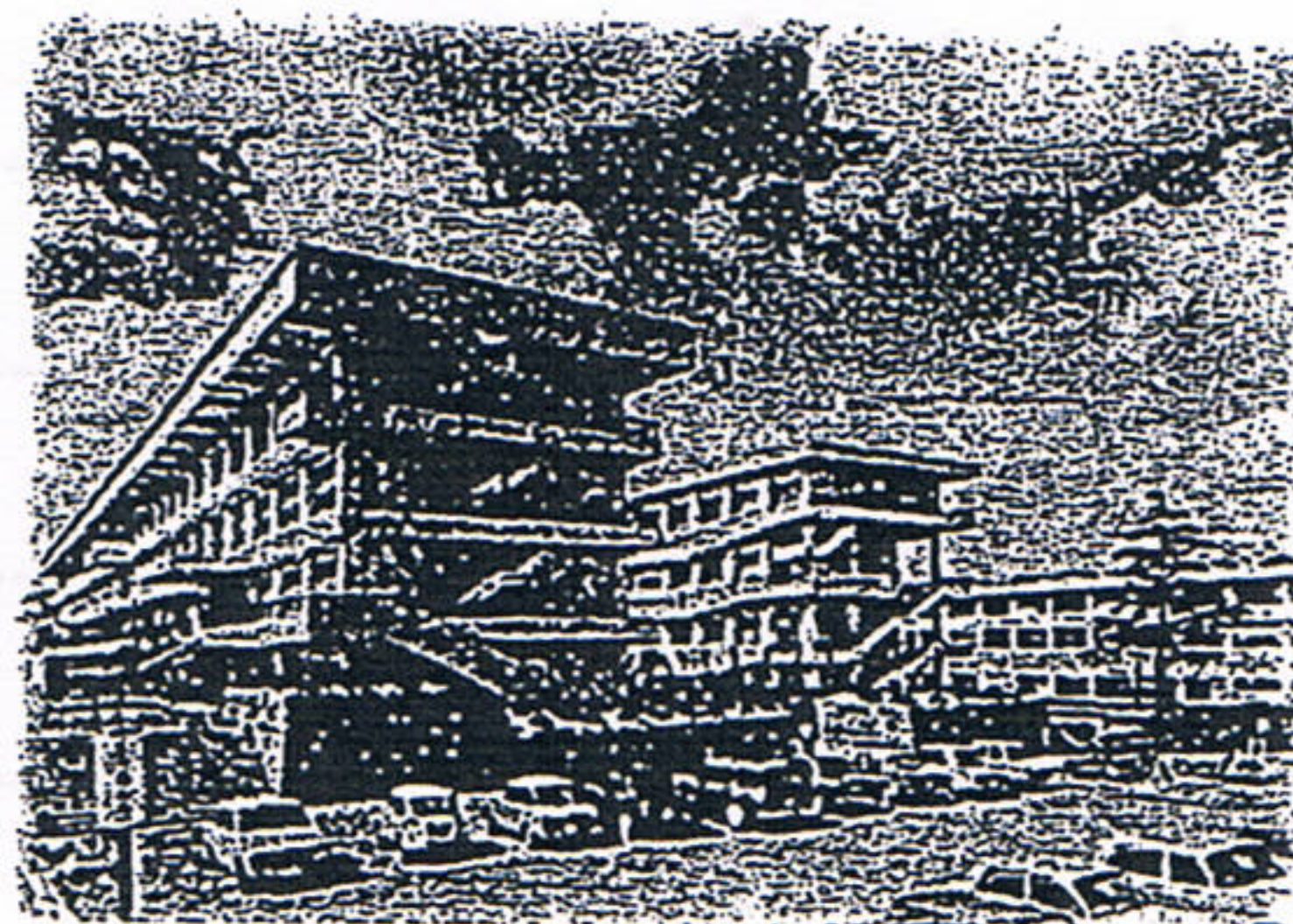
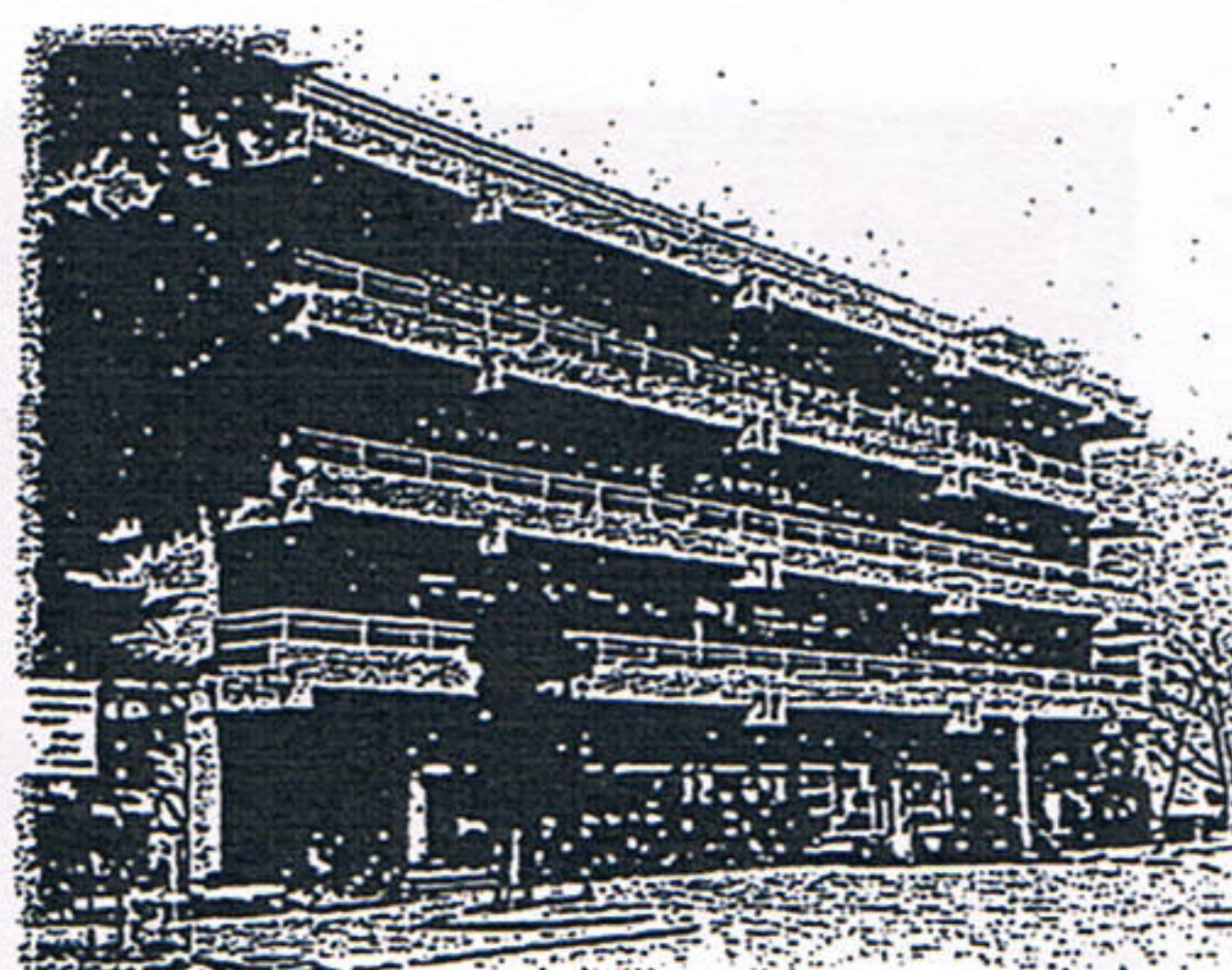
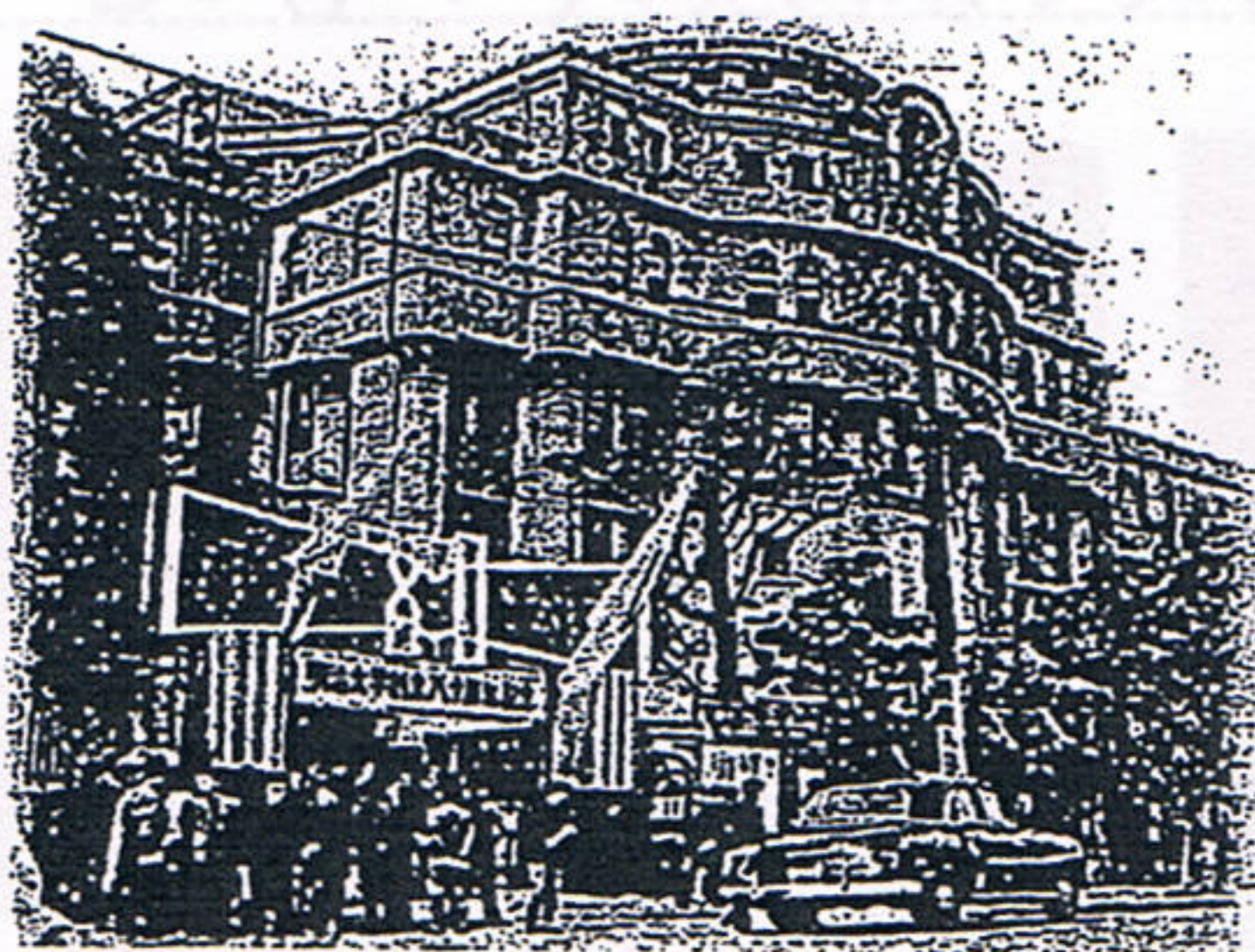
- ・一人でも多くの方に充実した学生生活を送ってほしいです。
- ・学生課で受け取り、そのまま会計課で学費として支払った給費金は今でも忘れません。
- ・私も大学院へ進学する際に奨学制度のおかげで助かりました。苦学生を少しでも支援できれば幸いです。
- ・私も娘もお世話になりました。学生のみなさんを応援させてください。
- ・将来を担う若者を少しでも応援できたらと思っています。
- ・少しですが、寄附させていただきます。私の気持ちです。少しでも役たてば嬉しいです。
- ・貸費奨学生としてお世話になりました。明大の充実した奨学制度に感謝しております。
- ・明治の卒業生がますます活躍しますように。私も含め、努力していきましょう！

感謝のことば



このたびは未来サポーター奨学金を給付していただき、本当にありがとうございました。家計状況が大変厳しく、奨学金に応募いたしました。母にはこれまで女手一つで育ててもらいましたが、今は高齢の祖母が居るため働きにすることができません。一昨年からいただいた奨学金は全て学費にあてさせていただき、残りの授業料はアルバイト代でまかなうことができました。余裕をもって大学生を送れたため、昨年度は新しい事に挑戦でき、非常に充実した一年となりました。ボランティアサークルの活動を通じて、以前から興味をもっていた福祉の勉強を始め、長期休みを利用して介護の資格を取得することができました。実習先では様々な人と出会い、新しい価値感にふれ、貴重な経験となりました。昨年末には二十歳の誕生日をむかえ、法律上は大人となりました。学んだ事をいかし、これからは大人として、支えられる側から支える側になれるよう努力していきたいと思っています。今年度は三年生に進級し、希望していたゼミに入ることができました。専門分野の授業が増えて、今まで以上に楽しい学生生活を送っています。目指す進路も少しずつ具体的にってきました。建築や不動産関係の仕事に就きたいと考えているので、現在は宅地建物取引士の資格取得に向けて勉強しています。今年度も時間を大切に、勉強、アルバイト、サークルと日々を充実させていきたいです。奨学生としての自覚と責任をもち、学生生活を送ります。御支援をいただいた皆様のご期待に添えるよう、努力してまいります。

この場をお借りしまして御礼申し上げます。本当にありがとうございました。



未来サポーター給費奨学生

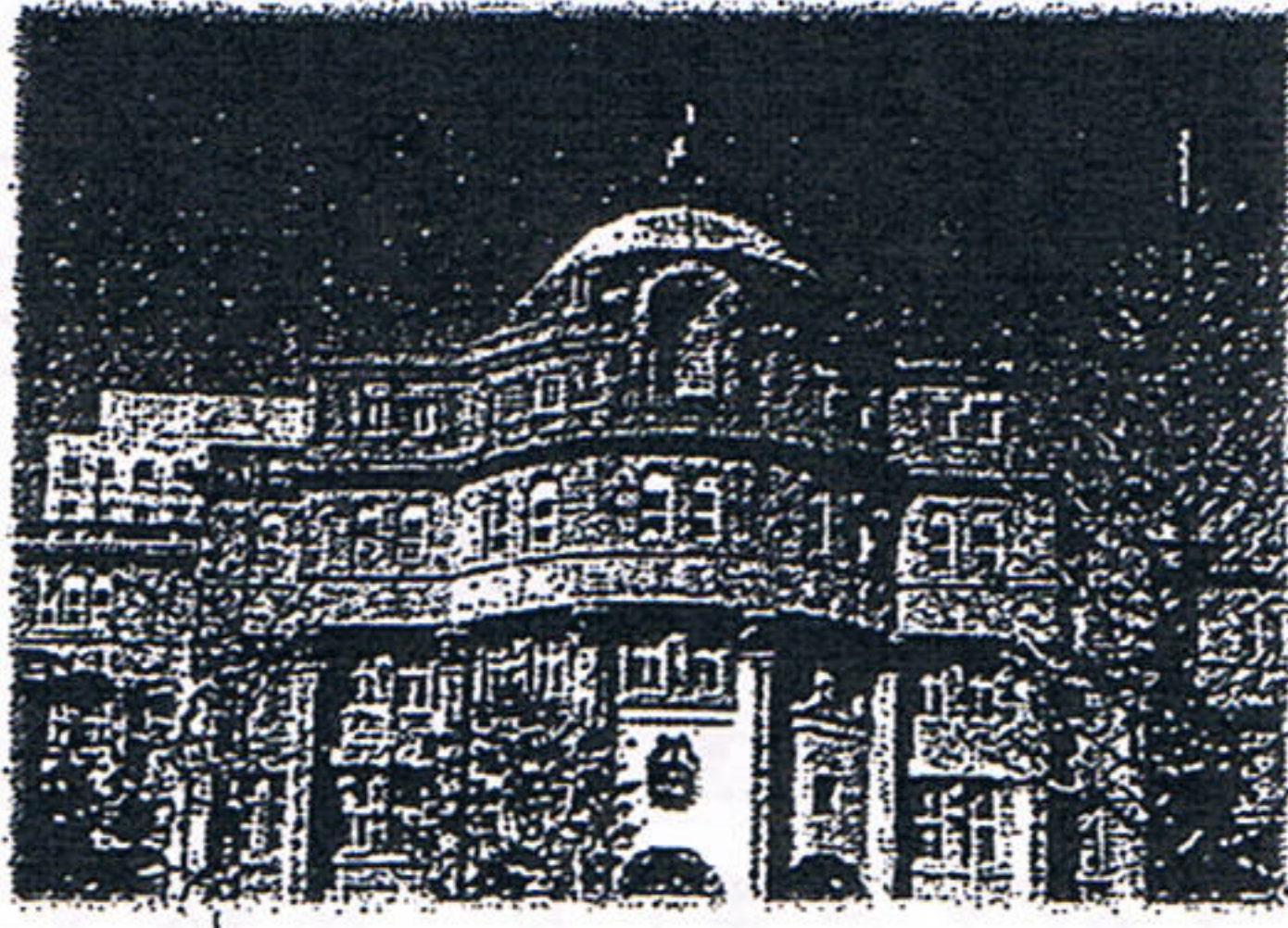
(

法学部

3年

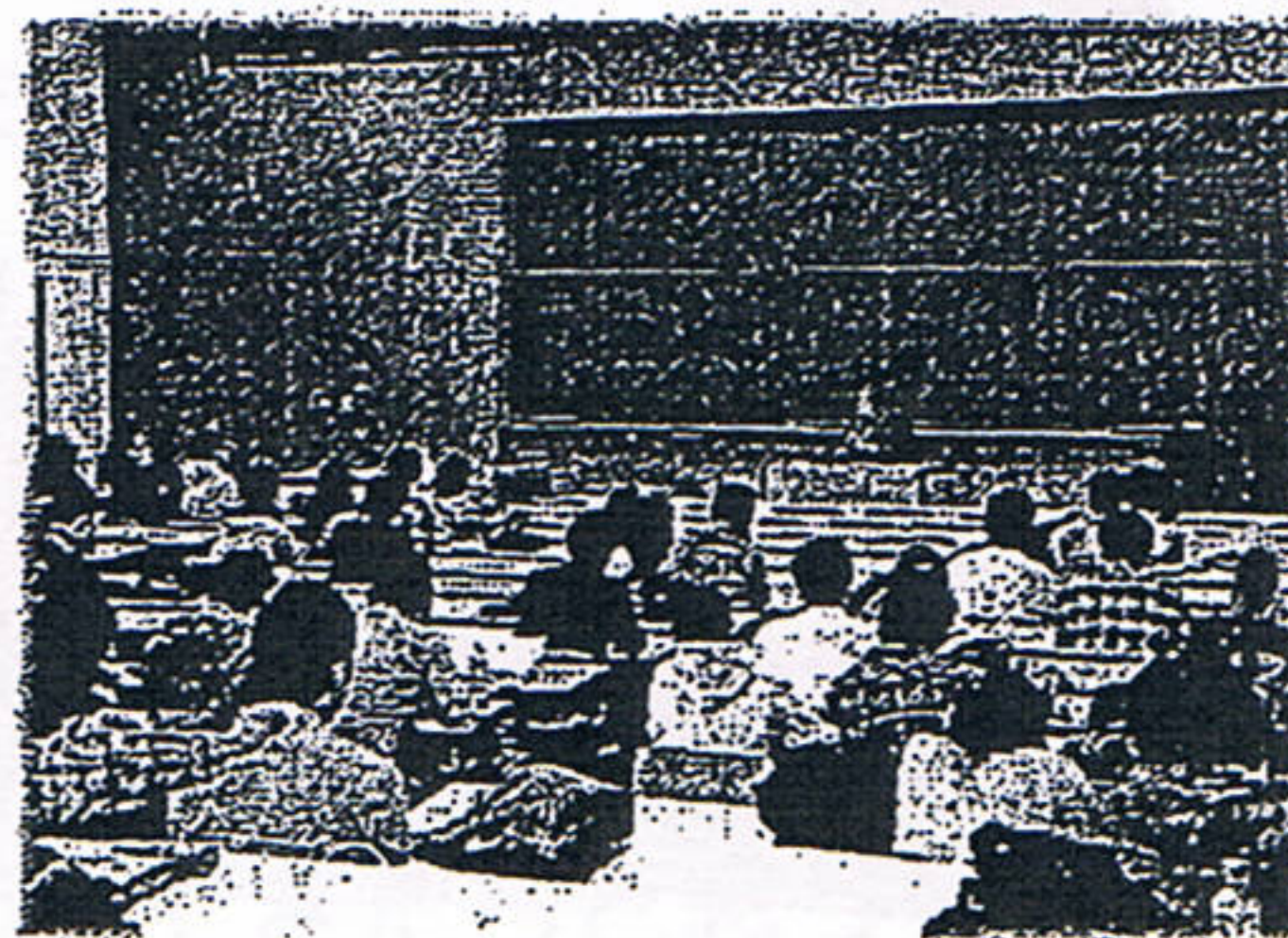
東京都出身)

感謝のこぼ



未来サポーター給費奨学生に採用して
頂き、これから感謝しております。本当に
ありがとうございました。奨学金を、生活費
に充てることができ週4のアリバイトを
週3に減らすことができるようになりました。

アルバイトを減らした時間を利用して、中国語の勉強や資格の勉強
に励み、中国語検定試験に無事合格することができました。
また、ゼミ活動にも力を注ぐことができ充実した生活を送ることが
できました。この充実した時間は皆様のご支援があってこそだと
思い、本当に感謝しております。今後私は貿易の職に就きたいと
思っています。その為に通関士の資格を取りたく思っております。
日本の文化や伝統を海外に伝えていきたい、その為には貿易
は必要不可欠な職業です。在学中に、時間を有効に活用し資格の
勉強に充てたいと思っております。未来サポーター給費奨学生に
採用されたおかげで、わざわざではありませんが月々の貯金に、お金を
充てることができるようになりました。資格の学校に通い、通関士
の資格を取ることが、大学在学中に挑戦したいことのひとつです。
大学で勉強に励み、明治大学商学部の学生として、未来サポーター
給費奨学生として自覚をもち、将来の為に行動し、社会に
貢献していきたいと思っております。皆様のご支援、本当にありが
とうございます。自分の今の生活が皆様のお蔭で成り立っていること
を心に刻み、一日一日
大切に大学生生活を
送ろうと思います。



未来サポーター給費奨学生

(

商 学部 2 年 大阪 出身)

感謝のことは



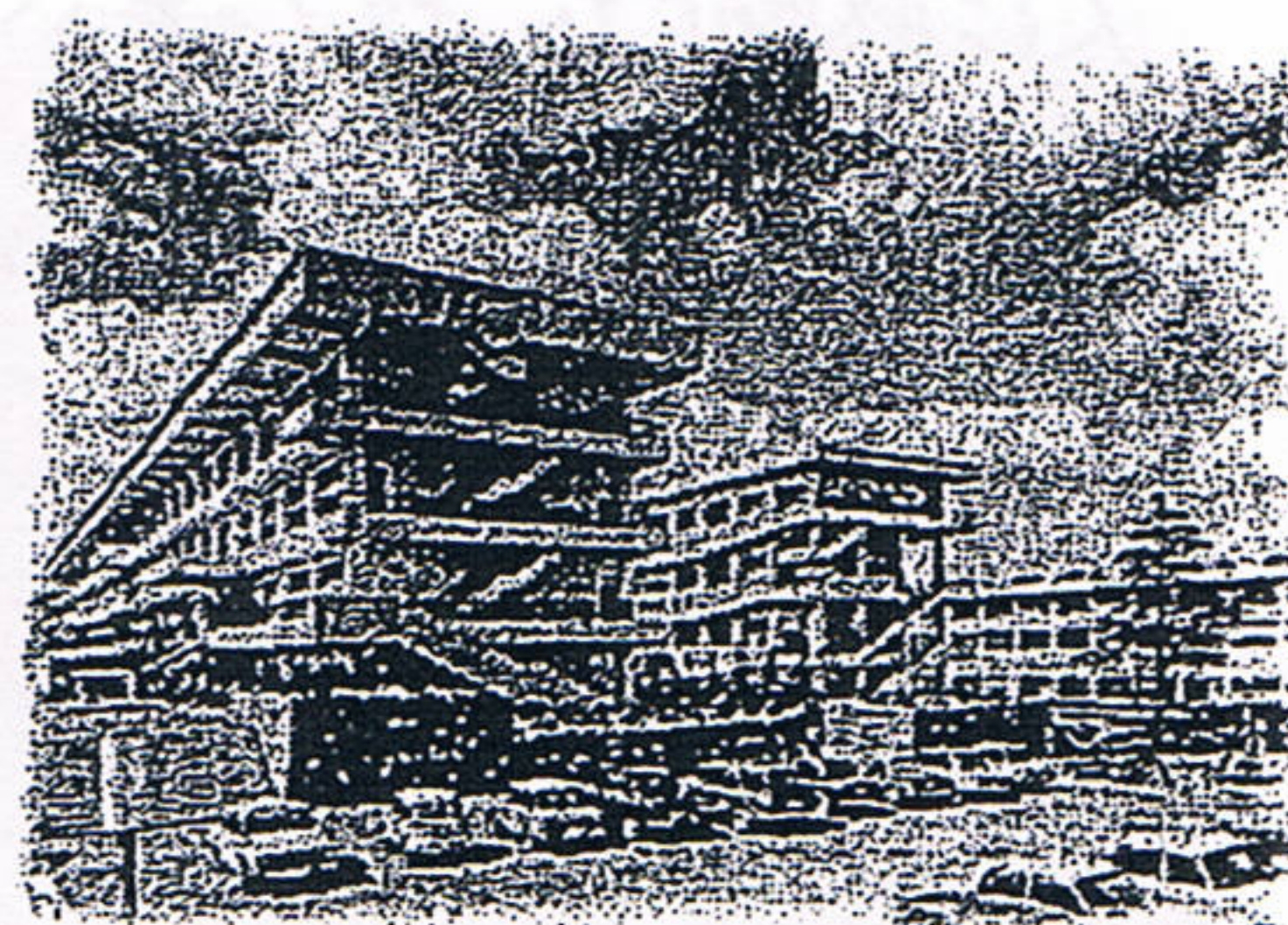
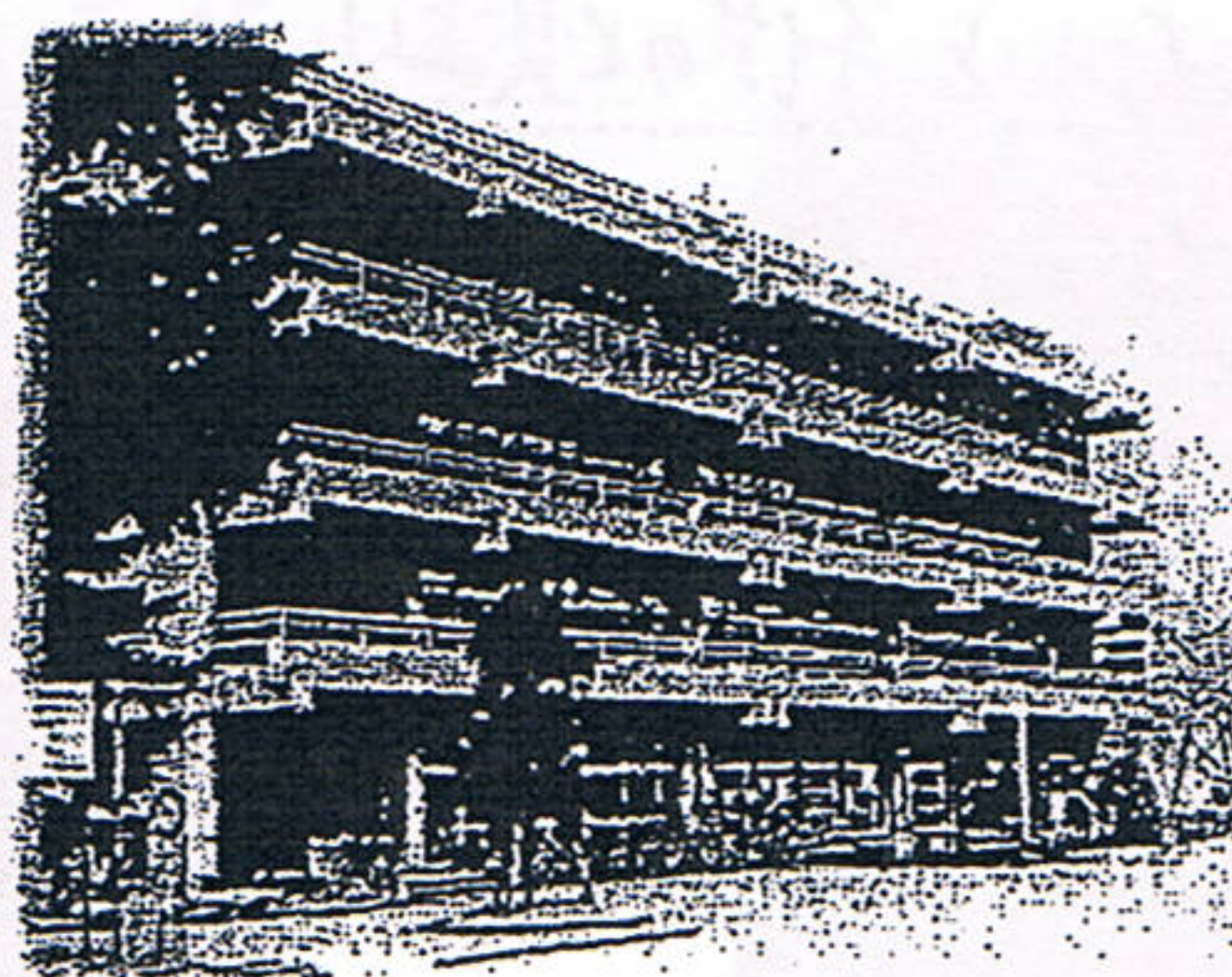
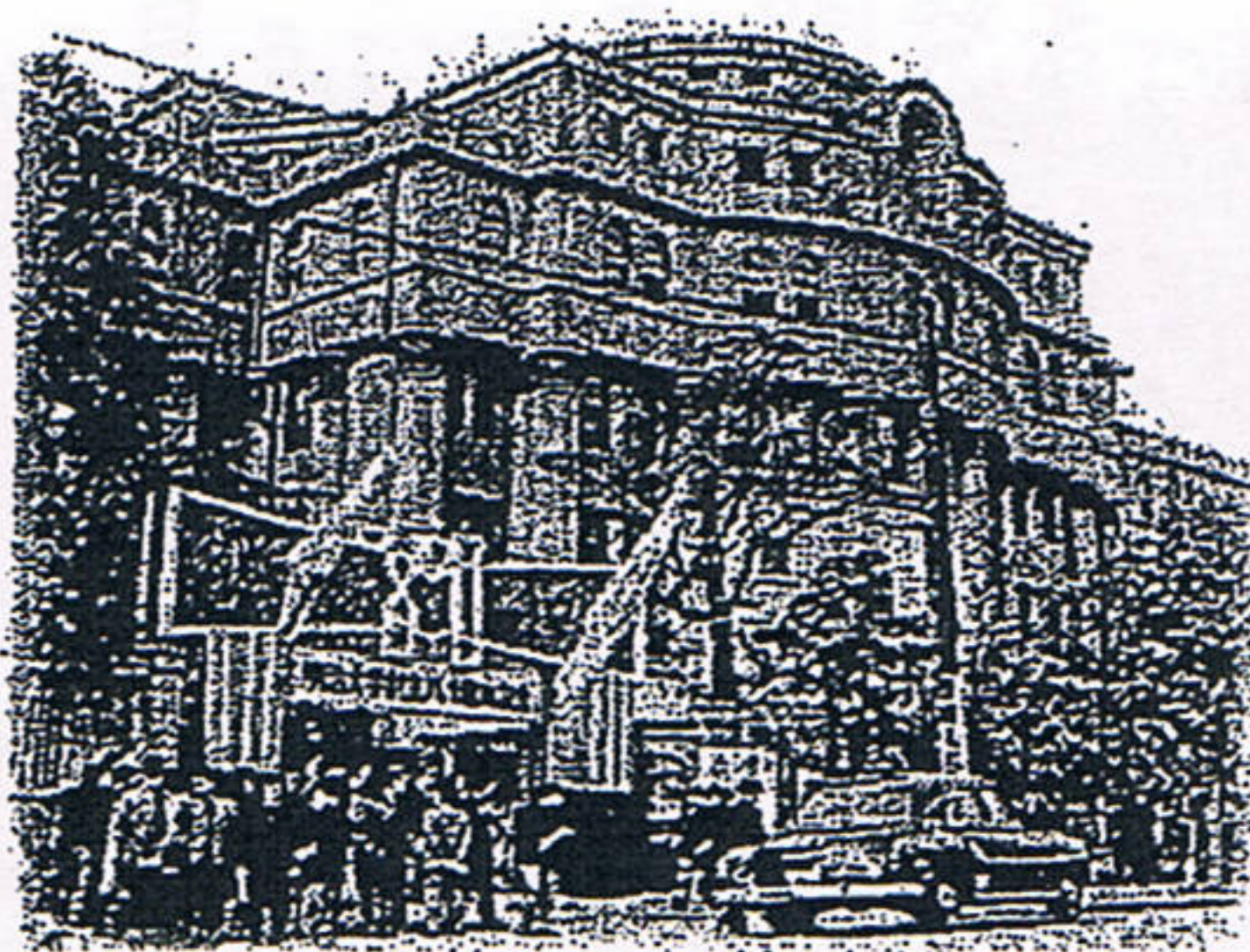
未来サポーター給費奨学生に採用され、授業料の半額を給費していただくこととなり、とても嬉しく思っています。私は昨年度に続き、2年目のサポートを受けることとなります。本当にありがとうございます。

[奨学金を必要とする理由、その用途]

私は5年前の東日本大震災で父と祖母を津波で亡くし、母との2人暮らしとなりました。当時は仮設住宅での生活を強いられており、私が進学先を決める時期は、とても苦しい生活を送っていました。それでも私のやりたいことを優先し、東京の私大への進学を後押ししてくれた母の負担を少しでも軽くしたいと思い、奨学金に出願しました。いただいた奨学金は全て学業に関することに使用したいと思っています。

[奨学金を受給することにより、生活がどのように変わったか]

私はこの未来サポーター奨学金を昨年度も受給していました。奨学金は大学の授業料や、行政研究所という明治大学独自の公務員志望者向けの講義の受講料にあてることができました。授業は通常より多くなって大変でしたが、学費の負担が軽くなったことで、アルバイトの時間を増やす必要がなくなり、学業に専念することができました。これからも充実した大学生活を送れるよう頑張りますので、よろしくお願い致します。



未来サポーター給費奨学生

(

政治経済

学部

2年

宮城県

出身)



今回、奨学金をいただけることになり、家計のやりくりには頭を抱えていた母にも喜んでもらえ、本当に助かっています。

〈奨学金を必要とする理由、その用途〉

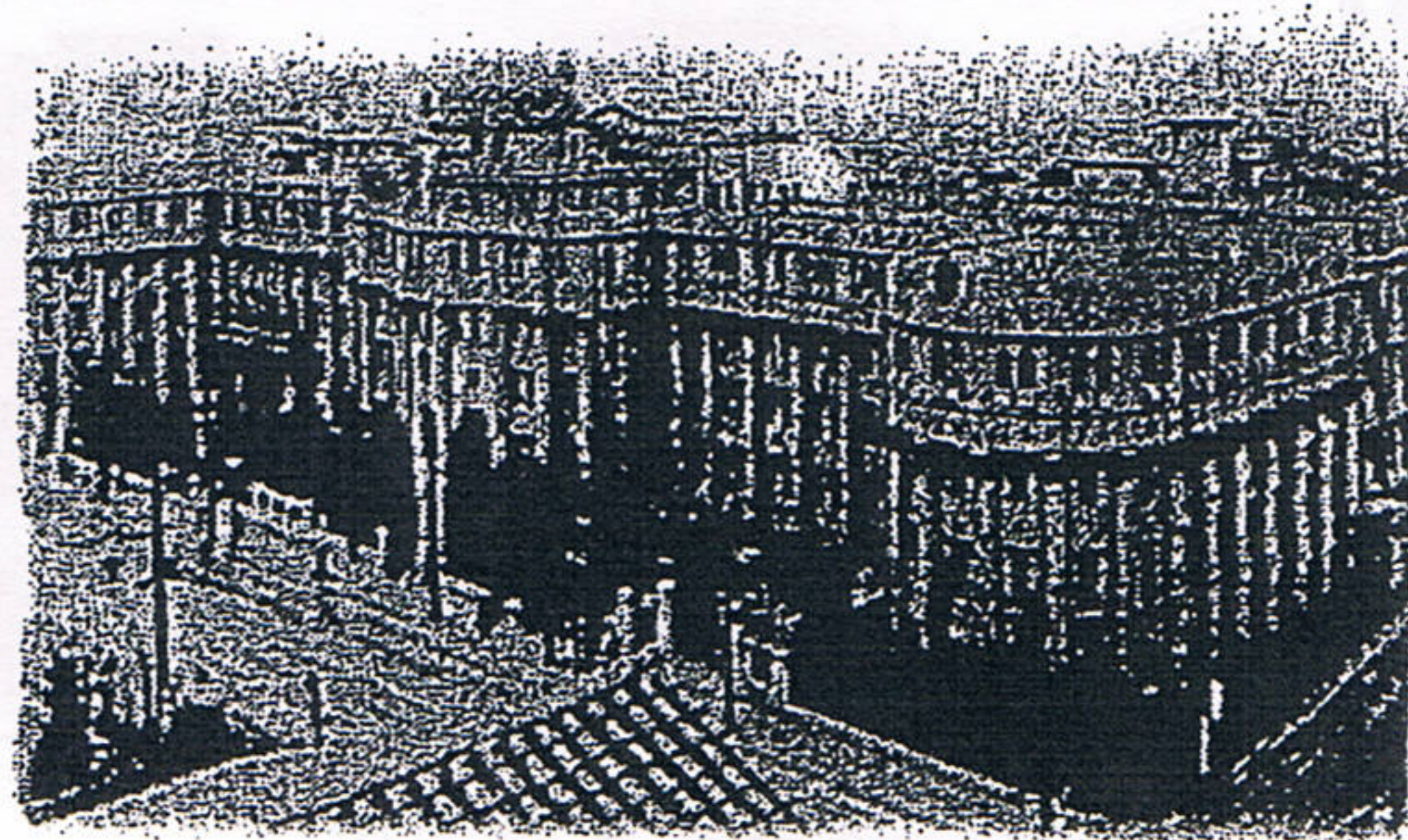
今まで女手一つで私を育てくれた母は今年で最期を迎え、これまでの無理がたにあってか体が思うように動かなくなり、仕事を辞めてリハビリに励んでいます。その代わりに大学進学にともなう費用は全て自分のアルバイト代から出そうと思い、大学に入ってからはずっといくつかのアルバイトを掛け持ちして、週に6日か7日働いてきましたが、睡眠時間が3、4日時間の日々が続き、授業に集中できない時もできてしまいました。これではせっかく大学に入れてくれた母に申し訳ないと思い、アルバイトを少し減らせたいかと考えて今回の奨学金に応募しました。レギュラーの金額は全て学費にあてる予定です。

〈大学生活で挑戦したいと思うこと〉

私は明治大学に入学する前から、明治大学が協定留学先として提携している北京大学に留学したい、という思いがありました。中国は母の故郷でもあり、私も幼少の頃から幾度となく訪れているのですが、その地で豊かな文化を学んだり、中国国内でも文系の学問に優れている機関で自分の関心のある文学やメディア関連の学問を学びたいと考えています。現在、留学に必要な中国語検定の級はなんとか取得できたので、成績をさらに上げて、留学を許可してもらえるよう努力しようと思っています。

〈将来の目標・目指す進路〉

人に感動を届ける仕事がしたいと子供の頃から思っています。大学や留学先で学んだことを活かしてメディア系の報道の仕事または映像作品を創る仕事に就きたいと考えています。



未来サポーター給費奨学生

(文学部 2年 京都 出身)



このたびは私を未来サポーター給費奨学生に選出して

くださり、とてもうれしく思っております。私はこの春に父を失い、

家庭環境が一変しました。学年が上がリ、研究室の配属も

決まったので、多忙な日々を過ごしております。いつも父の喪失

感には付きまといりますが、毎日研究に明け暮れとても充実して

います。現在の家庭環境では、自分のための学費を母から出してもら

うのはとても心苦しいので、アルバイトで稼いだお金ですべて支払って

いくことにしました。未来サポーター給費奨学生になったことで、母にも負担を

かけず、より研究に打ちこむことができます。本当にありがとうございます。

大学生活はあと一年ですが、私はさらに二年間、明治の大学院に進学して

研究を続けていけることになりました。残り二年半の研究室生活では

現在研究しているテーマをさらに深く勉強していきたいと思います。

研究している分野は研究室に配属される前から得意な分野であった

ため、さらに追及して勉強できることがとても楽しいです。初めて知ること

も多々あり苦戦することも多いですが、毎日が非常に充実しています。

研究をより深いものにし、一人前の研究者になるために、挑戦したい

ことがあります。それは、海外で論文を発表することです。英語で自分の

研究してきたことを世界に発表できるよう、空いた時間で英語の勉強を

していきたいと思います。

私の将来の夢は、自分の研究分野

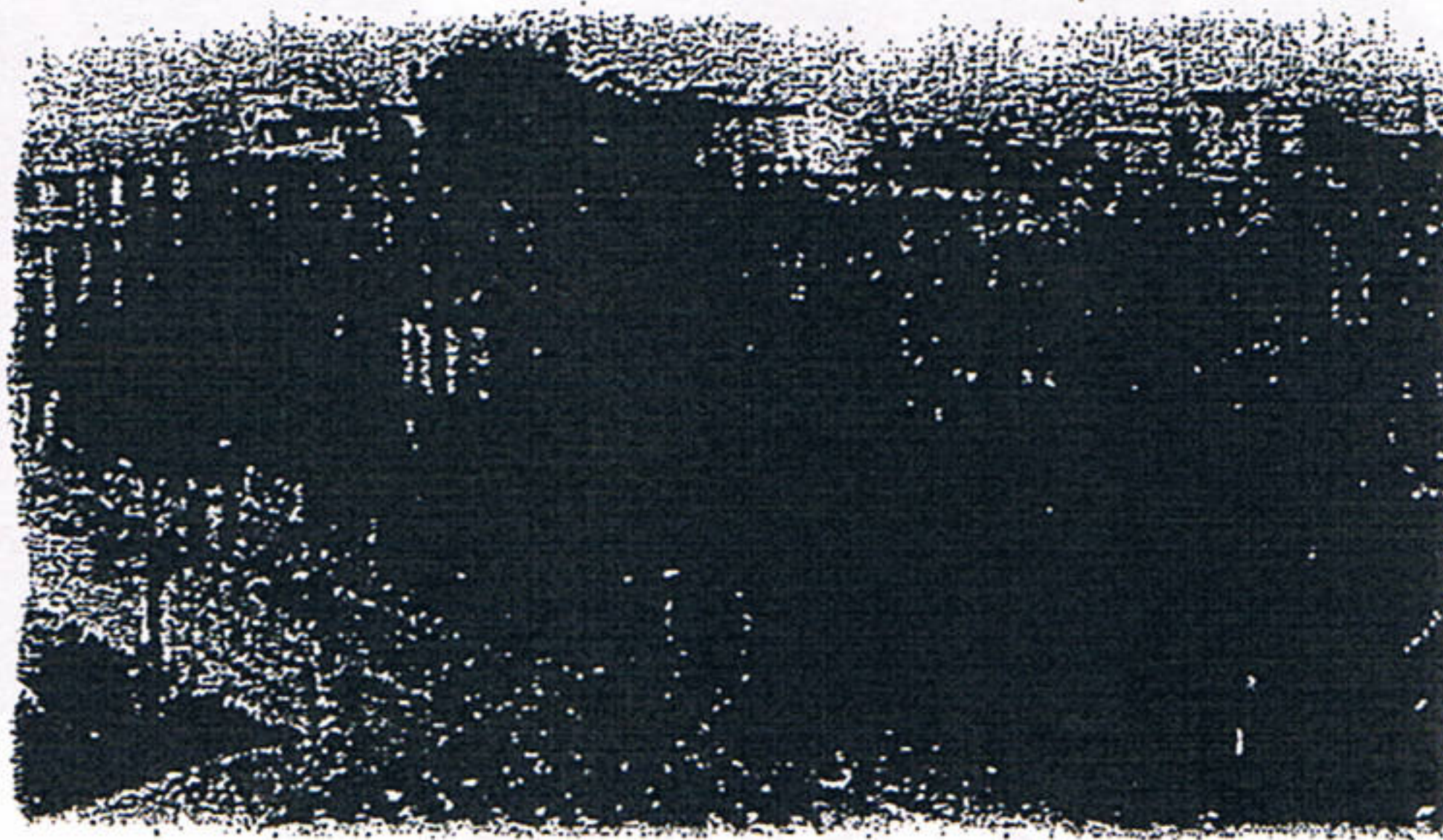
から父の、物理的には見えない背中

を見ることです。開発者であった父に追

いつけるような開発者になりたいと思っています。

この度は私を選出してくださり、本当に

ありがとうございました。



未来サポーター給費奨学生

(

理工

学部

4年

神奈川県出身)

感謝のことは

この度は、明治大学未来サポーター給費奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。この度奨学金をいただいたことで、アルバイトの時間を減らし、勉強に費やす時間を増やすことができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

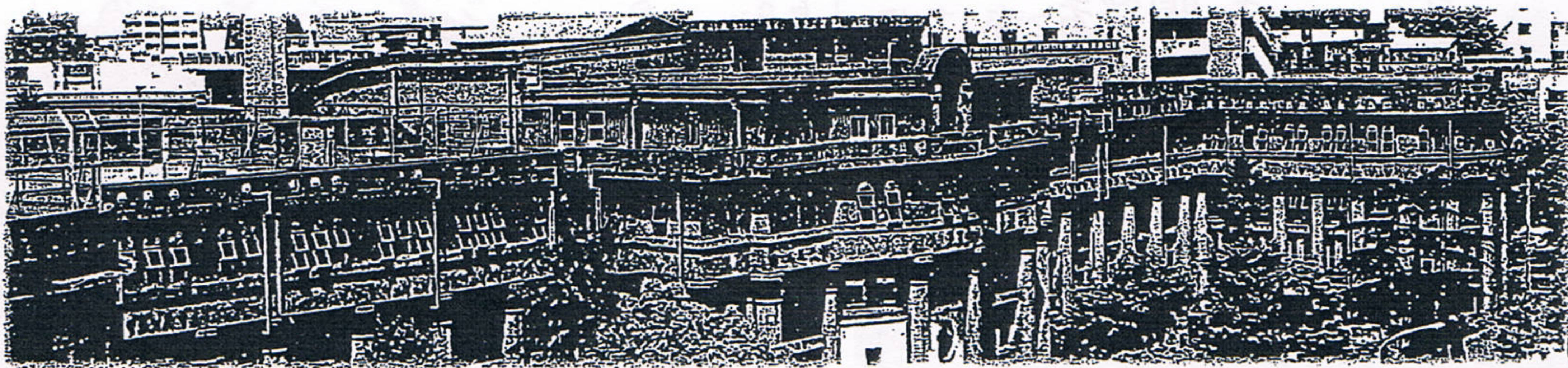
【奨学金を必要とする理由、その用途】

私は一年間浪人して明治大学に入学しました。母子家庭でありながら、浪人時代に通っていた予備校費用を母に出してもらったこと、母には沢山の迷惑をかけていました。そこで、学費は自分で支払おうと決めました。しかし学費を稼ぐにはアルバイトを増やす必要があり、勉強の時間があまり取れないことに不安を抱いていました。そんなとき、こちらの奨学金をいただいたことで、奨学金を全て学費に充てることができ、アルバイトの時間を減らすことができました。勉強に打ち込むことが出来ました。

【将来の目標、それに向け今努力していること】

私は現在、会計士になるために簿記検定取得のための勉強に励んでいます。奨学金を寄付してくれた方や明治大学の先生方、なにより家族の支えがあって今の自分がいます。

その感謝の気持ちを忘れずに、大学生活を有意義に過ごしていきたいと思っております。未来サポーター給費奨学生に採用していただき、本当にありがとうございます。



未来サポーター給費奨学生

(経営)

学部 3年 神奈川県出身)

感謝のことば

未来サポーター給費奨学生に採用されたこと、大変嬉しく思っています。授業料の半額を給付していただけることにより、金銭面に余裕ができて様々なことに挑戦してみようと思えるようになりました。本当にありがとうございます。

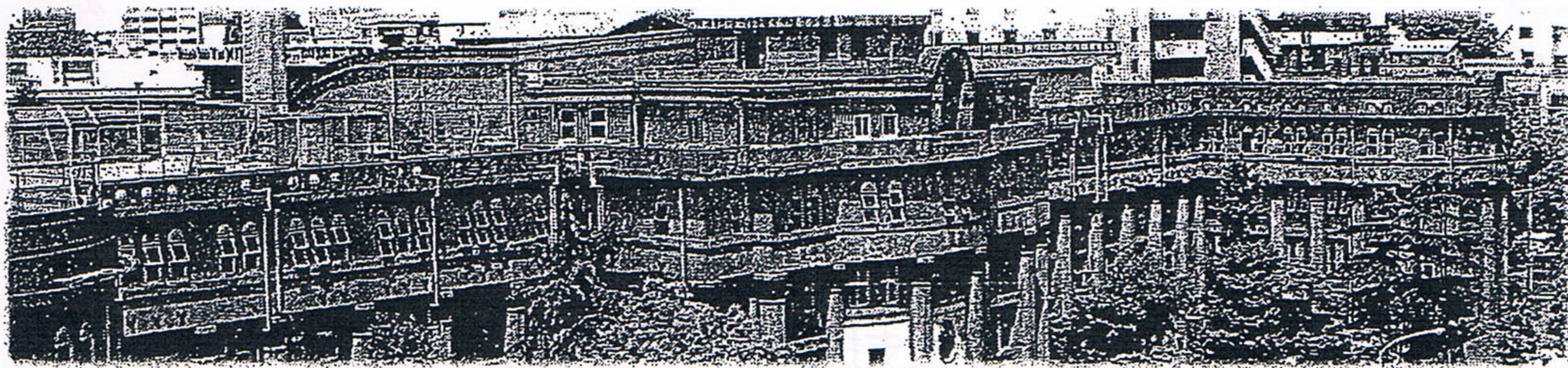
〈奨学金を必要とする理由、その用途〉

私は大家族の長女で、現在高校生・中学生・小学生の弟・妹がいます。そのため大学に進学する際は家計に大きな負担が掛かることを避けられたいと思いつつも悩みましたが、両親が背中を押してくれ進学を決めました。しかし、実際に入学してみると大学生活では思っていた以上にお金がかかり、一年生の頃は金銭面での不安が大きかったことを思い出します。家族にまで私の学費のことで心配を掛けたいため、また弟妹にも大学を自給してほしいという思いから奨学金に出願しました。今回奨学金を頂けのおかげで、学費は全て自分で支払うことができ見込みです。アルバイトもして稼いだお金は旅行や留学のための費用にまわせるようになりました。精神面でも余裕ができて、楽しい大学生活を送ることができています。

〈大学生活で挑戦したいと思うこと〉

国際日本学部のディズニーインターンシッププログラムに挑戦したいです。周りの友人の多くが留学を決めている中、金銭的に不安から留学は厳しいかと思いついていましたが、今回奨学生に採用されたことで少し希望が見えようと感じます。留学にはほとんどお金がかかりますが、その分得られるものもとても多いと思います。英語はほぼ毎日勉強しているので、海外に出て自分の英語力を試すとともに将来の可能性も広げたいと思っています。

今回奨学生として採用され、自分が大学で勉強している意味について改めて考える機会にもなりました。日々をふんわり過ごすのではなく、毎日新たな発見、体験のある刺激的な大学生活にしていきたいです。



未来サポーター給費奨学生

(国際日本

学部 2 年 東京都 出身)



お問い合わせ先

- ◆寄付に関する事 大学支援事務室 03-3296-4057・4059
- ◆奨学金に関する事 学生支援事務室 03-3296-4208